

文豪芥川龍之介の旅路 火山地層の美しい立神岩を訪ねて

文豪芥川龍之介は、大正4(1915)年8月に学友、井川恭(恒藤恭)の郷里である松江を訪ね、出雲大社などを周遊した後に、今市(現出雲市駅)から波根へ向かい、水月亭(現金子旅館)に宿泊しています。

このプランでは、芥川龍之介が見た日本海の風景を、ガイドと一緒に町歩きをすることで当時の情景を体感します。芥川龍之介が見たとされる縞模様が美しい「立神岩」は、約1,500万年前の火山活動により形成されたもので、日本遺産「石見の火山が伝える悠久の歴史」の構成文化財でもあります。また食事は芥川龍之介が宿泊したと言われる水月亭(現金子旅館)で、ふわふわとした食感が自慢の「大田の大あなご」を使ったあなご丼や肝吸い、「一日漁」で獲れた新鮮な魚を魚のすき焼き「へか焼き」をいただきます。

■ プログラムの主な内容 ■

芥川龍之介が見た風景をガイドと巡る

芥川龍之介が見た風景を、ガイドと一緒に歩いて巡ります。まち歩きは、芥川龍之介が降り立った波根駅からスタート。細い小道を歩いて、かつての宿場町、漁師町、そして芥川龍之介が泳いで遊んだ波根海岸を散策します。見どころのひとつの「立神岩」は、日本遺産構成文化財のひとつで、約1,500万年前の火山活動により形成されました。岩肌には、火山の噴出物による地層がくっきりと現れており、美しい縞模様になっています。芥川龍之介も見つめた波根海岸に佇む「立神岩」を見て、悠久の時を感じてください。



▲波根駅



▲立神岩



▲波根海岸

「大田の大あなご」を堪能



ふわふわとした食感が自慢の「大田の大あなご」を使ったあなご丼。あなご丼は、蒲焼と煮穴子の2種類のあなごを楽しめます。また「あなごの天ぷら」もご用意していますので、食べ比べて見るのも楽しみのひとつ。また珍しい「あなごの肝吸い」も付いています。



文豪芥川龍之介の旅路 火山地層の美しい立神岩を訪ねて

開催日 2022年9月25日(日)、10月16日(日)
集合 9:30 / 解散 13:00(予定)

料金 4,000円(税込)
【参加費に含まれるもの】
ガイド料、昼食代、資料代、保険料など

申込締切 開催日の5日前

定員 各回10名(先着順)
※予約が3名に満たない場合は中止となります。

集合場所 JR波根駅(島根県大田市波根町字中浜1327)
※解散場所は昼食会場の「金子旅館」です。

持ち物 歩きやすい服装、天候により雨具(雨天決行)

申込方法 事前申し込みが必要です。

電話、メール、FAXのいずれかでお申込みください。
申込時には、①参加希望日、②氏名、③住所、④電話番号、⑤年齢をお伝えください。(一緒に参加される方があれば、その方の氏名・年齢をお伝えください。)

お申し込み・お問い合わせ

一般社団法人大田市観光協会
〒699-2303 島根県大田市仁摩町大國42番地1
TEL:0854-88-9950 FAX:0854-88-9960
E-mail:ohdakankou@shimamet.jp



大田市観光サイト